

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年8月4日(2016.8.4)

【公開番号】特開2015-58111(P2015-58111A)

【公開日】平成27年3月30日(2015.3.30)

【年通号数】公開・登録公報2015-021

【出願番号】特願2013-192990(P2013-192990)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月15日(2016.6.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技動作に関連する制御を行う制御手段と、
起動により計数を開始し、クリア制御が行われないまま所定時間を計数した際にタイム
アウト信号を出力するとともに、動作を停止するウォッチドッグタイマと、
を備え、

前記制御手段のCPUは、前記タイムアウト信号に応じた強制リセットを行った後、前記制御手段の内部レジスタの値を初期設定する初期設定処理と、バックアップデータに基づいた復帰制御を行うバックアップ復帰処理と、タイマ割込処理を実行する期間を除いて所定の処理を繰り返し実行する無限ループ処理を順に行うと共に、前記バックアップ復帰処理の後に前記ウォッチドッグタイマを起動させる

遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る遊技機は、遊技動作に関連する制御を行う制御手段と、起動により計数を開始し、クリア制御が行われないまま所定時間を計数した際にタイムアウト信号を出力するとともに、動作を停止するウォッチドッグタイマと、を備える。

そして、前記制御手段のCPUは、前記タイムアウト信号に応じた強制リセットを行った後、前記制御手段の内部レジスタの値を初期設定する初期設定処理と、バックアップデータに基づいた復帰制御を行うバックアップ復帰処理と、タイマ割込処理を実行する期間を除いて所定の処理を繰り返し実行する無限ループ処理を順に行うと共に、前記バックアップ復帰処理の後に前記ウォッチドッグタイマを起動させるものである。